

2018春季生活闘争中小労組交流集会を開催!



すべての労働者の立場に立って働き方を見直そう!
「底上げ・底支え」「格差是正」でクラシノソコアゲ!

○連合秋田2018春季生活闘争中小労組交流集会

- ・と き：2018年2月17日（土）
- ・と ころ：ホテル サンルーラル大湯（大湯村）
- ・参加者：約50人（構成組織、地場中小労組より）

○主催者挨拶：連合秋田 黒崎保樹会長

大手組合が要求書を提出し、2018春季生活闘争が本格的にスタートした。集会の開催にあたり、以下の課題について認識を共有したい。春季生活闘争に対する経営者側の認識、人手不足による人材確保との関わり、「働き方改革」の三点である。とりわけ、雇用・労働法制への対応は喫緊の課題である。「働き方改革」は、法律の成立・施行に先行して、秋田の雇用環境等を意識し、職場の環境整備に積極的に取り組んでいく必要がある。また、連合秋田としても、

県、労働局、経営者団体に要請行動を行うなどの環境づくりに努める。本日の交流集会を通じて、情勢認識を共有いただき、最後まで組合員の顔を思い浮かべながら、闘う決意を固めていただきたい。



○提起：「2018春季生活闘争・地場中小労組の闘い方について」



連合本部・労働条件・
中小労働対策局
藤川 慎一 局長

『2018春季生活闘争・地場中小労組の闘い方について』と題し、2018春季生活闘争の役割と問題意識、具体的要求基準、持続可能な社会の実現についてなど、過去のデータや直近のデータを活用しながら、労働分配率の現状、月例賃金の引上げにこだわる理由、公正取引実現の重要性、賃金データの分析などについてご講演いただいた。

また、2018春季生活闘争のポイントとして、「賃金の引き上げ」「すべての労働者の立場にたった働き方」の実現を通じて社会全体の生産性を高め、「経済の自律的成長」、「包摂的な社会の構築」、「人的投資の促進」、「ディーセント・ワークの実現」をめざすことが重要であると提起いただいた。

○提起:「連合秋田2018春季生活闘争について」、産別からの状況報告・決意表明

連合秋田の藤井事務局長から「連合秋田2018春季生活闘争について」の提起を行った後、自動車総連秋田県協議会・牧野副議長、JAM秋田・後藤事務局長より、今次闘争に臨んでの状況報告と力強い決意表明をいただいた。



連合秋田
藤井真悟 事務局長



自動車総連秋田県協議会
牧野正人 副議長



JAM秋田
後藤正文 事務局長

○労福事業団体からキャンペーン等報告、団結ガンバロー

東北労働金庫秋田県本部の東海林本部長、小松副本部長、全労済秋田推進本部の羽澤本部長、松本次長より、現在展開しているキャンペーンのご案内と今春季生活闘争に対する激励をいただき、最後に連合秋田・黒崎会長の「団結ガンバロー」で勝利に向け取り組むことを確認した。



東北労働金庫秋田県本部
東海林悟 本部長



全労済秋田推進本部
羽澤斉志 本部長



団結ガンバロー

共闘軸・連携・交流・情報共有！



○連合秋田春季生活闘争全県統一行動

- ・第1次統一行動日 3月8日(木)
- ・第2次統一行動日 3月24日(土)～3月31日(土)

○連合秋田 第1のヤマ場を確認！

- ・3月24日(土)～3月31日(土)